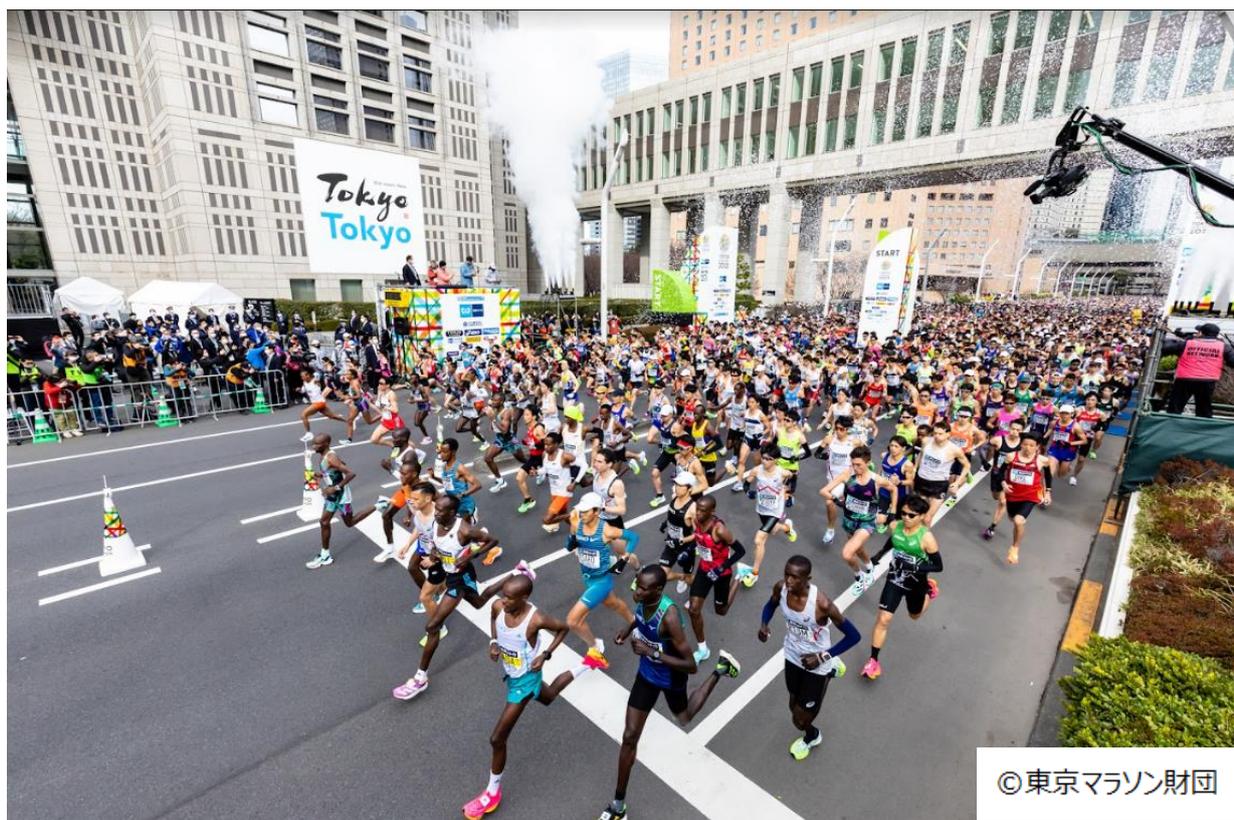




東京マラソン 2023 ～チャリティラウンジ実施～



©東京マラソン財団

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本（SON）は2023年3月5日（日）に開催された東京マラソン2023のチャリティの寄付先団体としてチャリティラウンジにてブース出展を行いました。また、大会に合わせて開催された東京マラソン EXPO 2023（開催：2023年3月2日（木）～4日（土））におけるチャリティブースを出展いたしました。

東京マラソン2023 EXPO開催期間中はSONを寄付先団体としてチャリティいただいたチャリティランナーの皆様にご支援の御礼を述べると共に、感謝の気持ちを込めて記念グッズ等をお渡しさせていただきました。SONの有森理事長も3月4日（土）東京マラソン EXPO 2023に会場され、SONブースに立ち寄りいただきました。チャリティランナーのみならず、一般ランナー、一般来場者等沢山の方へエールを送りました。

東京マラソン2023大会当日は、フィニッシュ後のチャリティランナーの皆様をフィニッシュラウンジでお出迎えし、東京の街を駆け抜けた皆様と交流を行いました。



- 日 時 : 2023年3月5日(日) (大会スタート時間: 9:10)
- 場 所 : 東京国際フォーラム B棟5階 (〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)
- 主な実施内容: フィニッシュラウンジ内における SON ブース運営
- 参加者 :
 - SON チャリティランナー
 - SON・有森理事長 (本文書内、3月4日(土)時点の役職名を使用)
 - 藤本愛史 (SON 第1期アスリートアンバサダー)、SO フロリダ・Chris Nikic を含む他3名 (3月4日(土))
 - SON スタッフ、ボランティアスタッフ1名

イベント内容 ※開催日順

『東京マラソン 2023 EXPO (2023年3月2~4日) 概要』

東京マラソン EXPO 2023 は東京ビッグサイトにて開催されました。SON は東京マラソン財団チャリティ「RUN with HEART」の寄付先団体として2011年から参加させていただいております。本大会は「東京マラソン 2020」から3大会ぶりに従来規模での開催となりました。SON も新型コロナウイルス感染症流行後、数年振りの対面での EXPO ブース運営となり、直接チャリティランナーの皆様へ日頃の感謝を述べる場として、貴重な時間を過ごしました。チャリティランナーの皆様へ、一般来場者や一般ランナーの皆様にもスペシャルオリンピックス (SO) の活動についてご紹介させていただきました。

加えて、SO フロリダに所属しており、スペシャルオリンピックス国際本部 (SOI) のチャンピオンアンバサダーでもある Chris Nikic が東京マラソン 2023 にランナーとして出走されるということで、SON ブースへご招待 (3月4日(土))。SON・有森理事長と SON 第1期アスリートアンバサダーの藤本愛史さん (SON 神奈川所属) と共に、「SO 活動について」、そして「東京マラソン 2023 出走前の目標」をインタビューし、日米 SO アスリートの交流をはかりました。SON・有森理事長にも SON ブースに立ち寄り、来場者との写真撮影や、SON 活動報告書の配布等を行いました。

『Chris Nikic との交流について (2023年3月4日)』

SO フロリダ所属で、SOI チャンピオンアンバサダーである Chris Nikic さんが東京マラソン 2023 に出走するにあたり、来日。世界6大マラソンのコンプリートを目指し、東京マラソンが本年1発目のレースとなりました (ボストン、ニューヨークマラソンは完走)。障害の有無にかかわらず、インクルージョン社会の実現を体現している彼の活動について、具体的な SO 活動やチャンピオンアンバサダーとしてのどのような取り組みを行っているのかインタビューしました。



©東京マラソン財団

インタビューは第1期アスリートアンバサダーの藤本愛史さん（SON 神奈川所属）が行いました。藤本さんは第1期アスリートアンバサダーとして、2020年9月から2021年12月末まで活動しておりました。活動の後半ではSO活動に関わる様々な人へインタビューしていく取り組みを行っていました。コロナ禍によりオンラインでの活動が中心でしたが、今回初めて他国のアスリートとリアル場で対面し交流することができ、これまで培ってきた経験、スキルを発揮する機会となりました。言語の違いに苦戦しましたが、とても貴重な経験でした。ChrisさんからはSO活動の経験をはじめ、SOチャンピオンアンバサダーとして取り組んでいきたいことなどをお聞きました。

【参考】

第1期アスリートアンバサダーの取り組みについて：<https://www.son.or.jp/wp-content/uploads/1d5f6ae15c5d92395d469b0d2858e224-1.pdf>

藤本さん：SO活動に参加するきっかけは何ですか？

Chrisさん：スポーツをしたかったこと。その中でSO活動に取り組む友人、Adrienneさんらに出会えたことで会えたことが素晴らしい機会になりました。

藤本さん：SOチャンピオンアンバサダーとして変革していきたいこと等がありますか？

Chrisさん：SOチャンピオンアンバサダーとして、何が可能なのかを見せていきたいです

また、有森理事長からも今回のChrisさんら来日に対するウェルカムメッセージを述べていただきました。日本国内にも沢山のSOアスリートがいる中で、Chrisさんが東京マラソン2023やSOチャンピオンアンバサダーとして挑戦している姿は、彼らにとっても新しいチャレンジを踏み出す際に、大変心強い存在であることをお伝えしました。また、今回の来日目的でもある東京マラソン2023を楽しんでほしいこと、日本を素敵な滞在になるように、とお伝えしました。

Chrisさんの父親であるNikさんは日本の素晴らしいところ（クリーンで、人々が親切であること等）に触れながら、Chrisさんの挑戦についてファミリー目線で語りました。Chrisさんが挑戦するアスリートの先駆者であり、彼らにできないことはない信じさせてくれる存在であることを話しました。また、ChrisさんがSO活動に参加してから、何が変化したのかもお話いただき、「Chrisさん自身、自信をもって色々な活動に取り組むことで、自立心が芽生え、Chrisさん自身の人生を自らの足で歩むことに繋がった」と語りました。

有森理事長：ChrisさんがSO活動に参加して変化したことはありますか？

Nikさん：友人が増えたこと、それに加え、より自信を持つこと、できることが増えたこと、色々なコミュニティに飛び込み自立することにつながりました。彼（Chris）自身の人生を自分の力で歩みだすことになりました。私（Nikさん）と妻はSOの大ファンです。それはSOがほかのコミュニティとの架け橋であるからです。この架け橋を通して、ほかのコミュニティへ行くことも、ほかのコミュニティからSO活動に参加することも可能です。これによって彼ら（アスリート）はコミュニティの一員として変化、挑戦、成長していけるのです。



©東京マラソン財団

左から : Chris さんの伴走・Amanda さん、SO アスリート (トライアスロン) ・Adrienne さん、
Chris さん、Nik さん (Chris さん父)、有森理事長、藤本さん、白井さん (通訳ボランティア)



藤本さんの提案で、東京マラソン EXPO 2023 の SONブースへ移動し、会場の熱気を感じながら、マラソンについて Chrisさんと有森理事長で話しました。今大会の目標タイムについて話し合い、終始和やかな雰囲気での交流を楽しみました。最後に全員で記念撮影をし、終了しました。

有森理事長：明日（2023年3月5日）は東京マラソン 2023 だと思います。初の東京マラソンでの目標は何ですか？

Chrisさん：2時間（で完走すること）です！（笑）

有森理事長：すごい目標ですね！私は2時間でフルマラソン走れないです、たぶん5時間くらいかかっちゃいますよ（笑）



©東京マラソン財団

司会進行役の藤本さんと通訳を務めた白井さん / SONブースでの有森理事長とChrisさん



©東京マラソン財団



©東京マラソン財団

『東京マラソン 2023 チャリティラウンジについて (3月5日)』

東京マラソン 2023 のチャリティラウンジは東京国際フォーラム B 棟 5 階にて開催されました。SON は東京マラソン財団チャリティ「RUN with HEART」の寄付先団体としてチャリティラウンジで SON ブースを出展、東京マラソン 2023 に参加したチャリティランナーの皆様へチャリティの御礼をはじめ、大会に挑んだランナーの皆様へ勇気をたたえるべく参加させていただきました。皆様思い思いに出走し、お疲れのところ、SON ブースにお立ち寄りくださいました。17:00 過ぎにはスタート地点、沿道、フィニッシュ地点で声援を送り続けていた有森理事長もブースに来ていただき、SON チャリティランナーやその他のチャリティランナーの皆様とも記念撮影を行い、1人1人「お疲れ様」と言葉をかけました。ランナーの皆様、大会運営スタッフ、そして素晴らしい大会を開催するために縁の下の力持ちとして活躍して下さったボランティアの皆様のおかげ様をもちまして、SON のチャリティラウンジ出展を終えることができました。



ブース

東京ビッグサイト南 1・2 (C-04)



東京国際フォーラム B 棟 5 階 (C-04)





ブースで撮影したチャリティランナーの皆様（一部）



©東京マラソン財団



©東京マラソン財団



©東京マラソン財団



©東京マラソン財団

撮影協力いただきました方たちの様子は、東京マラソン 2023 EXPO 期間中および大会当日の SON 公式 SNS で掲載させていただきました。下記 URL をご覧ください。

Facebook : <https://www.facebook.com/so.nippon/>

Twitter : https://twitter.com/so_nippon

インスタグラム : https://www.instagram.com/specialolympics_nippon/?hl=ja



ホスピタリティ

チャリティランナーの皆様を対象に下記グッズを東京マラソン EXPO 2023 期間中～東京マラソン 2023 チャリティラウンジでお渡しさせていただきました。

1. Be with all トートバッグ
 2. SON ステッカー
 3. SON & Be with all ロゴ入りブランケット (右図)
- ※各 1 部ずつをセット



(公財) スペシャルオリンピックス日本は、東京マラソン財団チャリティ「RUN with HEART」の寄付先団体です。

東京マラソン 2023 公式ウェブサイト (チャリティページ) : <https://www.marathon.tokyo/2023/charity/>

以上